

《事例①》 御幸森小学校跡地：いくのコーライズパーク（複合施設） 1/2頁

1学年10名前後の小規模化への対応のため、中川小・舍利寺小の一部との再編を1年前倒して御幸森小と中川小の2小の再編を先行。
跡地は多文化共生のまちづくり拠点として、「NPO法人IKUNO・多文化ふらっと」と「株式会社RETOWN」により活用されている。

<生野区広報紙「広報いくの」(令和5年1月号)より>

広報 IKUNO 2023年(令和5年)1月号



御幸森小学校跡地 いくのコーライズパーク (通称:いくのパーク)が動き出しました!

この取組はSDGsにつながっています 住み続けられるまちづくりを パートナーシップで目標を達成しよう

御幸森小学校跡地は、「つなぐ」「まなぶ」「たべる」「はたらく」「つどう」「たのしむ」「つたえる」「まもる」という8つの包括的機能をもつ地域拠点「いくのコーライズパーク」(略称:いくのパーク)として生まれ変わりました。

詳細についてはInstagramをご覧ください

いくのコーライズパークとは

御幸森小学校跡地は、多文化共生のまちづくり拠点として、【株式会社RETOWN】と【NPO法人IKUNO・多文化ふらっと】の共同事業体により、管理運営されています。今後20年間の貸付期間の運営は、共同事業体が費用を負担しています。



株式会社RETOWN



NPO法人IKUNO・多文化ふらっと

Bリーガーが生野区から誕生するかも!? バスケスクール開講!

「バスケットボールを学び、バスケットボールから学ぶ」SPIRIT ACADEMY バスケットボールスクールでは、元Bリーガー今野翔太監修による基礎を学ぶ初心者レッスン～本格的なレッスンまで、経験豊富なコーチにより指導を行っています。また、B GROUND レンタルスポーツコートとして、体育館を活用し地域の方々や近郊の皆様にはスポーツで健康を維持していただける環境も提供していきます。さらに、各種イベント利用や、バザーや音楽会などのレンタルスペースとしてもご利用いただくことができます。

詳細はこちら



体育館の雰囲気をそのまま残しています!



プロのロッカールームみたいな雰囲気の待合室もあります!!



地域の子とも達が集まる場所に! 学習支援教室

NPO法人クロスベイスとIKUNO・多文化ふらっとが共催する「学習サポート教室DO-YA(どや)」が開かれ、国籍やルーツ、生まれ育った環境の違いが学力の格差につながらないよう、一人一人のレベルに合わせた教科学習をサポートしています。講師は大学生から社会人の方まで、幅広い年代の方が活躍しています。

活動時間 毎週月・水・木曜 17時30分～20時50分まで 毎週火・金・土曜 14時30分～17時20分まで



詳細はこちら



木のぬくもりを感じながら過ごせる居場所に生まれ変わった音楽室



地域の方達が自由に楽しめる図書室 ふくろうの森としてリニューアル!

大人も子ども誰でも利用できます!



いくPAの図書室～ふくろうの森～として、地域の方達が自由に楽しめる図書室としてリニューアルしました。中央には円形の本棚の中で本に囲まれながら読書が楽しめる「本の家」が作られ、木の幹から伸びた葉っぱで天井は覆われ、まるで森の中にいるように、木の香りに包まれて素敵な読書時間が過ごせます。

活動時間 毎週火曜・金曜・土曜 9時～17時まで 詳細はこちら



木のぬくもりを感じる多目的室、レンタルスペースとして貸出中!

識字教室や子ども食堂などで、定期的に人々が集まる場になっている他、レンタルスペースとしても貸出中です。



詳細はこちら



間接照明も使えます! 雰囲気がガラッと変わりますよ!



大阪聖和保育園 子育て支援・多機能センター

●ピョニアリホーム（利用料が必要）
＜一時預かり事業＞
保育所等を利用していない家庭のお子様で、一時的に保育が困難となると
きや、育児を負担と感じる場合など、一時的にお子様をお預かりしています。
活動時間 平日（月～土）及び日祝 9:00～17:00
（延長保育／8:00～9:00、17:00～18:00）

＜休日保育加算事業＞
保育所を利用している家庭のお子様で、日曜日や祝日にお仕事があり、
保育が必要となる方の保育を実施しています。
活動時間 日祝 9:00～17:00（保育短時間認定の方）
日祝 7:30～18:30（保育標準時間認定の方）



●せいわのぼぼぼ／つどいの広場事業（基本的に無料）
親子のあそび場や、いろんなイベントを実施しています。
活動時間 日曜日～木曜日 9:00～14:00
※詳細は、お電話ください▶聖和・多機能センター ☎06-6777-2580

飲食人大学
「飲食人大学」はこれから飲食業界で働こうとする人、既に飲食業界で働い
ている飲食人のための学校です。
飲食業界の現場で働く「人」視点で、現場で通用する技術を短期間で習得で
きます。

コース プロの寿司職人、中華料理人をめざす方が日々学んでいます。
●寿司マイスター専科
●中華マイスター専科
授業時間 月～土曜日（祝日除く） 9:00～16:00



もと保健室のレトロでおしゃれな喫茶店
「喫茶室みゆきもり」

スタンドグラスや木をふんだんに使った内装は懐かしさを感じる空間。
こだわりのコーヒーや、サンドイッチ、トースト、デザートなどをお楽しみ
いただけます。もちろんテイクアウトもOK！ 誰もが寄りやすく気がつけ
ばみんなが集まっている「街のリビングルーム」をめざします。
営業時間 11:00～18:00



動作解析ソフトで動きを見える化！キミはもっとスポーツがウマクナル！
キッズスポーツスクール「UMANARU」
プロトレーナーが動きを診断、ウマくなるトレーニングを伝授します！
対象 小学校5年～中学3年生対象
無料体験会実施中！▶ 毎週木曜日 ①17:00～ ②18:00～



「いつでも だれでも どこへでも」海鷗トラベル
すべての人が自由に旅行するためのお手伝いをします。
●貸切バス手配 ●JR車いす席手配 ●国内・海外航空券予約
●団体旅行企画 など
営業時間 9:30～17:30（土日祝休み）
お気軽にお立ち寄り
ください。



<生野区広報紙「広報いくの」
（令和5年6月号）より>

校庭の芝生やプールのBBQ場は
事業者による整備



引用元：
<https://www.facebook.com/ikunotabunkaflat>



《事例②》 林寺小学校跡地：インターナショナルスクール 1/2頁

※広報紙掲載時の情報です。

<生野区広報紙「広報いくの」(令和5年3月号)より>

林寺小学校跡地

【活用事業者】株式会社バハールエデュケーション

【活 用 内 容】アブロードインターナショナルスクール大阪校

提案詳細は

こちら▶▶▶



事業者詳細は

こちら▶▶▶



アブロードインターナショナルスクール大阪校は、平成18年に大阪市西区に開校した、国際バカロレア (IB) (※) 教育プログラムの認定校です。現在、幼稚部から中学2年生まで約180名の生徒が在籍しており、移転後は最高学年の進級に伴い、毎年1学年ずつ拡大し、将来的には高校3年生までの一貫教育校となる予定です。



活用事業者からの メッセージ

アブロードインターナショナルスクール大阪校
校長 ウル ケナンさん

私どもの特色は、特定の人種・国籍、民族、宗教、性別に限定しない「多様性を受け入れる寛容さと国際性」です。人と心がふれあい、文化が交わることでまちの活性化や平和と交流の架け橋を世界へ拡げていく、その実現に地域の方々と一体となって取り組みます。地域コミュニティの核施設として、防災機能はもとより、多くの方々の交流・ふれあいの場としての機能を担い、新たな風を吹き込んでいきたいと考えています。



※国際バカロレア (IB) とは

国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラムのことです。国際バカロレアの認定校で学ぶことで、国際的に通用する大学入試資格である国際バカロレア資格を取得することができます。



《事例②》 林寺小学校跡地：インターナショナルスクール 2/2頁



AIS Osaka is going to move to
New Campus next Summer!

Location:
Osaka-shi Ikuno-ku
Hayashiji 2-14-3

Access:
Teradacho Station 1 km (12 minutes)
Tobushijomae Station 950 meter (12 minutes)
Tennoji Station 1.8 km (24 minutes)
Koboreguchi Station 1.2 km (15 minutes)

Divisions:
Nursery
ELC (Preschool, Pre-K, Kinder)
Primary School
Middle School
High School (from 2024)

Visit our website for
more information!



スクールバスで広域から児童生徒が通う

林寺小・生野小・西生野小・舎利寺小の一部と生野中学校を再編し、大阪市初の「義務教育学校 生野未来学園」を開校のため、林寺小学校の跡地活用を並行して地域主導で話し合い、「教育機関など様々な学びの場」となるものを特に望まれる要件として公募。

インターナショナルスクールの大阪校（西区）の移転先として事業者が決定し、改修工事を経てR5年8月23日に開校。

地域連携アドバイザーとしてインターナショナルスクールに雇用された地元の人材が調整役を務め、防災だけでなく地域活動の活性化につなげることが期待されている。

《事例③》 生野小学校跡地：インターナショナルスクール 1/2頁

※広報紙掲載時の情報です。

<生野区広報紙「広報いくの」(令和5年3月号)より>

生野小学校跡地

【活用事業者】グローバル・インディアン・エデュケーション株式会社

【活 用 内 容】ワン・ワールド・インターナショナルスクール

提案詳細は
こちら▶▶▶



事業者詳細は
こちら▶▶▶



未就学児を対象とした幼児教育、及び小学校1年生～高校3年生にあたる12年間の初等～高等教育を、国際バカロレア (IB) (※) による教育システムに沿って行います。

56か国の国籍2万人を超えた学生が在籍しており、現在、日本・シンガポール・マレーシア・タイ・アラブ首長国連邦・ベトナム・インド・サウジアラビアの8カ国で23校のインターナショナルスクールを運営しています。



活用事業者からの メッセージ

グローバル・インディアン・エデュケーション株式会社
管理部長 水野 早海さん

私たちは東京江戸川区で2006年からインターナショナルスクールを運営してきましたが、この度地元から長年愛されてきた生野小学校の校舎を引き継ぎ、防災拠点としてだけでなく、地域コミュニティの場として未来の生野区の魅力の一つになって地域の発展に貢献し続けられるインターナショナルスクール運営をめざしてがんばっていききたいと思います！



《事例③》 生野小学校跡地：インターナショナルスクール 2/2頁

生野小・西生野小・林寺小・舍利寺小の一部と生野中学校を再編し、大阪市初の「義務教育学校 生野未来学園」を開校のため、生野小の跡地活用を並行して話し合い、「教育機関など様々な学びの場」となるものを特に望まれる要件として公募

関西進出を予定していた東京のインターナショナルスクールの事業者が決定し、改修工事を経てR5年8月28日に開校。

防災拠点としてだけでなく、日常的に地域に開かれたスペースの開設も予定している。



引用元:<https://owis.org/jp/ja/>

リノベーション後の外観と、内装のパス図。
ICT教育の設備やシアタールームを整備予定。



生野南小・田島小を再編し、田島南小中一貫校を開設のため生野南小の跡地活用を並行して話し合い、【「新たな学び」と「交流/居場所」の機会が得られる場所】を特に望まれる要件として公募。

地域や区役所との連携した防災活動や地域ニーズを踏まえた地域コミュニティの拠点としての役割を果たしていく等地域貢献の提案をしている。

地域・生野区と連携した防災活動

○防災×地域コミュニティ

災害時に地域の皆さまが、安心して校舎を防災拠点として利用できるように、地域の皆さまと一緒に「生野南ふれあい協議会防災マップ」をベースに、防災訓練を定期的を実施します。専門学校や通信制高等学校の開催時期には、生野南ふれあい協議会や生野区、各協力組織と連携を図り、学生と地域の皆さまと一緒に防災について、学び、体験し、共有できる場を設けます。

○生野区、運営者、地域の皆さまの3者が連携を図った

避難訓練の定期開催の実現

生野区や生野南地区で行ってきた防災訓練と学校側で行う防災訓練を連携して行うことで、災害時に避難所としての学校の具体的な運用方法(仮設パーテーションの設置などの訓練や「わが家の防災マップ」の活用、「きずなネット」構築など、皆で認識し考える場を設けていきます。



生野南ふれあい協議会防災マップ(生野南ふれあい協議会HPより)



生野区、運営者、地域の皆さまの3者が連携を図った避難訓練のイメージ:生野区で行われている防災訓練の様子

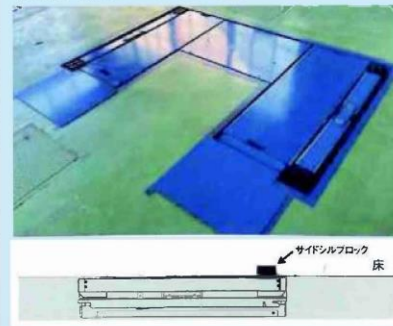
自動車整備専門学校の避難所として開放可能な室について

災害時の実習室について

実習室にある備品は移動可能なものを選定しており、災害時には備品等が散乱しないように対策をするため、一時避難場所として開放することができるとしています。

○一階実習室も災害時に地域に開放することが可能な計画

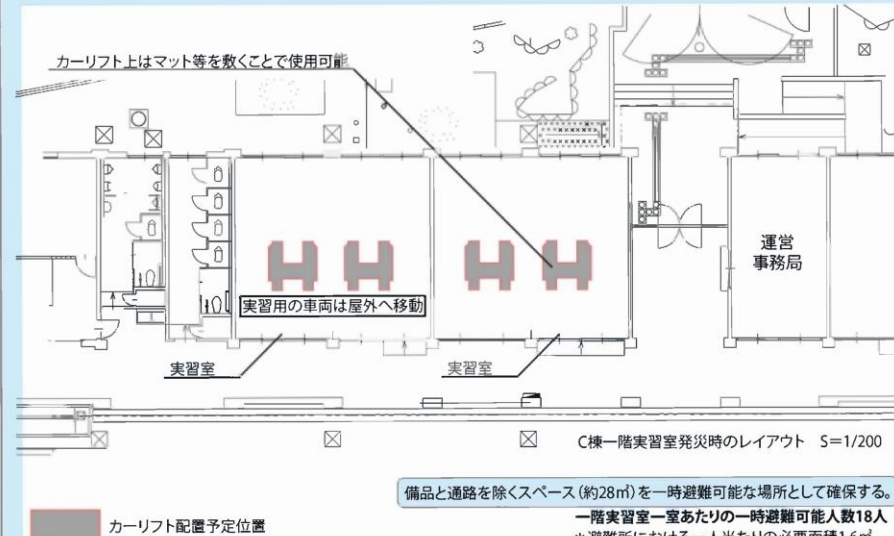
カーリフトを配置している1階部分の実習室は、災害時に実習車両を室外に移動させる事で最大限避難所として利用出来るスペースを確保する計画とします。また、自動車整備の授業に必要なカーリフトに関しては床面に対して水平になる仕様のものを使用するため一時避難が可能なスペースとなります。



カーリフトの製品イメージ



カーリフトが配置される予定の実習室



備品と通路を除くスペース(約28㎡)を一時避難可能な場所として確保する。
一階実習室一室あたりの一時避難可能人数18人
*避難所における一人当たりの必要面積1.6㎡

引用元:活用事業者による提案資料

<https://www.city.osaka.lg.jp/ikuno/page/0000582417.html>